

出張リフレッシュ理科教室(那留会場)実施報告書

| | |
|------|------------------------------------|
| 開催日時 | 2022年10月14日(金)15時～17時、15日(土)8時～11時 |
| 場所 | 郡上市立那留小学校 |
| 参加者 | 101名(内応用物理学会関係者10名) |
| 実施組織 | 応用物理学会東海支部、那留小学校 |

開催目的

公益社団法人応用物理学会東海支部が青少年の理科離れを憂慮して開催している「出張リフレッシュ理科教室」は、科学館などがない地方の小中学校の先生の理科教育に関するリフレッシュ(物理現象の体験とその原理の理解を通じて理科教育を考える)と、これらの学校の児童に実験工作を自ら体験させることによって、理科への興味と、自然現象・物理現象への関心と理解を高めることを目的として実施するものである。

開催内容

前日はリハーサルと現地の学校との打ち合わせ、当日は下記のスケジュールで実施。

8時30分～40分：開会式、8時40分～9時20分：演示実験、9時20分～9時40分：移動および休憩、9時40分～11時：理科工作・修了式、11時～後片付け、午後：現地で反省会の後、解散。

なお、演示実験は液体窒素を用いた極低温の世界の体験で、物質の3態、液体酸素の性質、凍らせた生花を使って児童・教員・保護者が参加型実験を体験した。

理科工作に関しては

1年生10人と2年生・3年生12人は恐竜バトル(シート磁石を使った恐竜相撲)

4年生12人と5・6年生17人は電磁力スペースシャトル(単極モーター)

の工作を行った。これらには保護者30人の参観もあった。

開催結果(成果)

1) 演示実験の様子



2) 理科工作の様子

1 年生



2・3 年生



4 年生



5・6 年生



3) 成果

地方にいてなかなか都市部の科学館などに行かれない児童やその保護者を対象として参加型演示実験を体験させることにより、触れたことがない様々な現象に目を丸くして驚き、かつてない体験に喜ぶ様子を見せた児童は強烈なインパクトを受けたと思われる。この体験は将来、中学生、高校生に成長した際にも、必ず記憶にとどまり、科学への興味関心を高めることにつながるものと期待する。また、この理科教室には保護者の参観もあり、自宅に戻って親子で体験に関する会話が期待される。

現地の教員も普段目にしない児童のキラキラする目に、あたためて普段接する児童の新たな面を発見し、日常の教育にも有益な結果を与えたと思われる。

れいわ ねんど り かきょうしつ なるかいじょう
令和4年度リフレッシュ理科教室 (那留会場)

ふ し ぎ かがく せかい
「不思議な科学の世界」

にち じ れいわ ねん がつ にち ど ごぜん じ ぶん かいかい
日 時：令和4年10月15日(土) 午前8時30分 開会

ごぜん じ ぶん ごぜん じ ぶん
午前8時40分～午前9時25分 サイエンスショー

ごぜん じ ぶん ごぜん じ ぶん り か こうさく きょうしつ
午前9時40分～午前10時55分 理科工作教室

ば しょ ぐじょうしりつ なるしょうがっこう
場 所：郡上市立那留小学校

も もの ひっき ようぐ じょうぎ
持ち物：はさみ、筆記用具、定規



こお
どうせんが凍る? おもしろーい!
サイエンスショー

ちぎゅう まわ
どうやって地球を回るのかな? スペースシャトル
工作(4、5、6年生)

か きょうりゅう
どっちが勝つか? 恐竜がたたかう?
工作(1、2、3年生)

くうき えきたい
空気が液体に??
サイエンスショー

せかい
何もかも凍る? つめたい世界??
サイエンスショー

連絡先：郡上市立那留小学校
(☎0575-82-4501)
応用物理学会東海支部 羽淵 仁恵
(☎058-320-1355：岐阜高専)

主催：(公社) 応用物理学会東海支部
郡上市立那留小学校